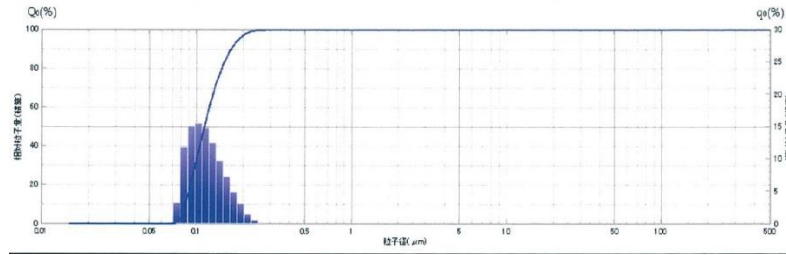


UFB発生装置



当社開発旧タイプUFB発生装置にバブル直径分布（17時間後）最小80nm

UFB発生の基本原理

プロペラ前方の真空キャビテーション

改良開発の要点

管路の最適化

1. 入り口円錐面 2. 出口円錐面 3. 管路径：翼型比 4. 外径保護ステンレス管
ねじり翼型による流れの高速化

1. 高速流の発生 2. マイナス静圧 3. 最大発生真空度12倍

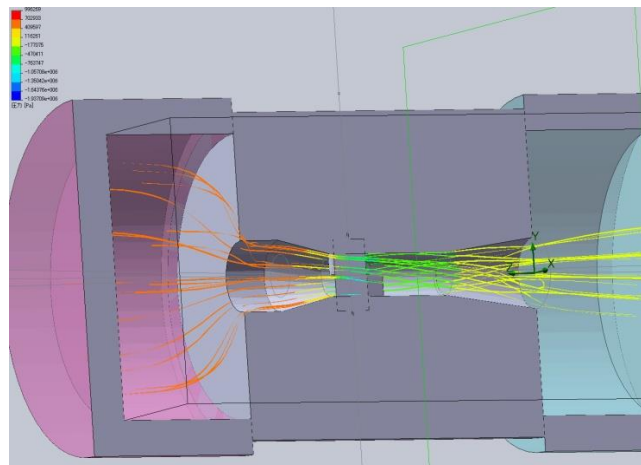
改良結果（最適値を各項目毎にCFDでチェック）

「真空キャビテーション」

当初-171822[Pa]であったが

改良後-2.08338e+006[Pa]となり

12倍の最大真空度」が得られる形状が完成した。



最大真空度200万[Pa] 最大流速40m/sの流線図

期待される効能

- 1, 洗浄効果（洗濯機、太陽光パネル洗浄、シャワーなど）
- 2, 殺菌効果（病院床等の清浄化、空気清浄機、畜産・魚貝品の滅菌など）
- 3, 生体活性効果（動植物の養殖、畜産、魚養殖の効率化など）
- 4, 熱伝達率の向上効果（工具の長寿命化、加工面の精度の向上など）
- 5, その他（医療分野、美容効果など）